

働く大変さと楽しさ学ぶ

城南中3年生が職場体験学習

新宮市

新宮市立城南中学校（中田善夫校長）の3年生61人が12日から14日までの3日間、市内23事業所の協力を得て職場体験学習をした。

働く人たちの様子を見学・体験することで仕事をしていく上での喜びや厳しさを実感し、働くことの意義や目的を把握するとともに、正しい職業

観や勤労意欲を身に付けることが目的。職業人としての先輩に接することで生き方や人間関係の大切さを学ぶという狙いもある。



子どもたちと触れ合う西内寿奈さん
12日、新宮市立蓬萊保育所



子どもたちに寄り添い一緒に過ごした

体験初日、市立蓬萊保育所（上野三四所長）では、崎山瑠菜さん、小林潮音さん、西内寿奈さんの3人が1〜3歳児を担当した。職員に教わりながら園児らの給食や着替えのサポートなどの保育業務に取り組んだ。絵本の読み聞かせや「おやつタイム」もあり、生徒らは子どもたちに寄り添ってこ

コミュニケーションを取りながら一緒に過ごした。3歳児を担当した小林さんは「子どもが好きで将来、保育士の仕事をしたくて志望しました。体験を通じて子どもたちへの対応や、目配り・気配り、保育士としての大変さなどを先生方から学びたい」と話していた。

（榮本康人）

アトリエKei

インドの手織と手仕事の衣

23日まで、「CALICO」展示会

新宮市千穂（裁判所裏）のアトリエKei 2階で23日（日・祝）まで、雑誌『天然生活』などでも掲載されているインドの手仕事布ブランド『CALICO（キヤリコ）』の展示会「CALICO：インドの手織と手仕事の衣」が開催されている。

2012年よりインド・ニューデリーを拠点に活動し、手織りの布を日常の世界に取り入れて新しいデザインを提供している同ブランド。アトリエKeiでの展示会は2回目で、今回の展示会では、インド大陸の東にあるベンガルの村々で織られた涼やかなカディ（手紡ぎ・手織り）、透かし織りジャムダ